

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成25年7月18日(2013.7.18)

【公開番号】特開2013-657(P2013-657A)

【公開日】平成25年1月7日(2013.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-001

【出願番号】特願2011-134181(P2011-134181)

【国際特許分類】

B 0 1 D 25/12 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 25/12 G

【手続補正書】

【提出日】平成25年5月31日(2013.5.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ろ板（ 9 ）間に挟持したろ布（ 10 ）で固液分離したろ液を、各ろ板（ 9 ）のろ液通路（ 25 ）を介して外側部に形成した排出路（ 26 ）に排出するフィルタープレス（ 15 ）において、

各ろ板（ 9 ）の外側端にろ液を検知する検知装置（ 1 ）を配設するとともに、
検知装置（ 1 ）を、

ろ液に接する端面に隔膜（ 3 ）を有し、

内部にピストン（ 7 ）と検知棒（ 6 ）を移動可能に内挿し、

外部から検知棒（ 6 ）の移動を目視可能に構成した

ことを特徴とするフィルタープレスにおけるろ布破損検知装置。

【請求項 2】

前記ろ液通路（ 25 ）をろ板（ 9 ）の肉厚内に形成して、

ろ過室（ 21 ）と排出路（ 26 ）を連通させ、

検知装置（ 1 ）を排出路（ 26 ）のろ液通路（ 25 ）と対向する位置に配設した

ことを特徴とする請求項 1 に記載のフィルタープレスにおけるろ布破損検知装置。

【請求項 3】

前記ろ液通路（ 25 ）をろ板（ 9 ）の肉厚内に形成して、

ろ過室（ 21 ）とろ板（ 9 ）の外側端を連通させ、

ろ液通路（ 25 ）に分岐路（ 29 ）を設けて排出路（ 26 ）に開口させ、

検知装置（ 1 ）をろ板（ 9 ）の外側端からろ液通路（ 25 ）に配設した

ことを特徴とする請求項 1 に記載のフィルタープレスにおけるろ布破損検知装置。

【請求項 4】

前記検知装置（ 1 ）を頭部（ 4 ）を設けた中空のハウジング（ 2 ）で構成し、

ろ板（ 9 ）の外側端にろ液の排出路（ 26 ）に連通する検知孔（ 28 ）を形成して、

ハウジング（ 2 ）を検知孔（ 28 ）に螺着するとともに、

ハウジング（ 2 ）の頭部（ 4 ）に開孔（ 5 ）を設け、

排出路（ 26 ）に面するハウジング（ 2 ）の一端に隔膜（ 3 ）を張設し、

ハウジング（ 2 ）に検知棒（ 6 ）を有するピストン（ 7 ）を摺動自在に内挿して、

検知棒（ 6 ）の後端をハウジング（ 2 ）の頭部（ 4 ）から突出可能とした

ことを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載のフィルタプレスにおけるろ布破損検知装置。

【請求項 5】

前記検知棒（ 6 ）の対向位置に遠隔検知装置（ 3 0 ）を配設し、

検知棒（ 6 ）の移動を感知すると、

警報装置が作動、あるいはフィルタプレス（ 1 5 ）の運転が停止する

ことを特徴とする請求項 1 ～ 4 の何れか 1 項に記載のフィルタプレスにおけるろ布破損検知装置。